

学 力 検 査 問 題

国 語

注 意

- 一 指示があるまでは、検査問題を開いてはいけません。
- 二 検査問題は表紙を除いて七ページで、問題は から まであります。
- 三 答えは、全て解答用紙に記入しなさい。
- 四 字数を指示した解答については、句読点、かぎ（「」）なども一字に数えなさい。

一

次の①～⑩の傍線部について、漢字は平仮名に、片仮名は漢字に改めなさい。

- ① 記念品を贈呈する。
- ② 抑揚をつけて音読する。
- ③ お客様からの注文を承る。
- ④ 新たな難問に挑む。
- ⑤ 大臣を罷免する。
- ⑥ 荷物をアズける。
- ⑦ 商品をセンデンする。
- ⑧ 争いをチュウサイする。
- ⑨ 日程をタンシユクする。
- ⑩ 鉄が磁気をオびる。

二

次の文章は、船大工の家に生まれた満吉が、親方であり父親でもある芳太郎に、自らが考えた船を造らせてほしいと、思い切って願い出る場面を描いたものである。これを読んで、後の問いに答えなさい。

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を
控えています

けになった。 「魔の海に炎たつ」(岡崎ひでたか)による。

(注) じい||満吉の祖父。

亀萬||満吉の父である芳太郎が親方として経営する造船所。

亀萬の事情||亀萬の親方になれるのは一人だけで、芳太郎は

満吉の兄である丈太郎を親方しようと考えている。

シケ||風雨のため、海が荒れること。

安房||旧国名。今の千葉県南部。

問一 ¹ ない と同じ品詞を含むものを、ア〜エから選び、符号
で書きなさい。

- ア 間違いない イ 忘れない
ウ 寒くない エ 頼りない

問二 ² その顔を満吉は正面から見すえていった とあるが、こ
のときの満吉の気持ちとして最も適切なものを、ア〜エか
ら選び、符号で書きなさい。

ア 父親が怒るのは理解できるが、せめて自分がけんめい
に取り組んだことを褒めてもらいたいと思っっている。

イ 父親の荒々しい態度に圧倒されて、やはり自分が考え
た船の構想は間違っているかもしれないと思っっている。

ウ 父親が言っていることを受け止めて、自分が考えた嵐
に強い船のどこがいけないのかを聞こうと思っっている。

エ 父親の怒りを買っていることは分かっているが、それ
でも自分が考えた嵐に強い船を造りたいと思っっている。

問三 ³ そいつは慢心だぞ とあるが、芳太郎が「慢心だぞ」と
言ったのは、満吉が亀萬の船造りを否定して、船を改良し
たいと言っただけに對してどのように考えたからか。三十
字以上三十五字以内でまとめて書きなさい。ただし、「見
習いの身」という言葉を使い、「満吉は」という書き出しに
続けて書くこと。

問四 ⁴ 眼の光のなかにおどろきをかくせないでいる とある
が、次の 内の文は、このときじいを読みとつ
た芳太郎の気持ちについて、本文を踏まえてまとめた一例
である。
A 、
B に入る最も適切な言
葉を、それぞれ本文中から抜き出して書きなさい。ただ
し、字数は A、
B にそれぞれ示した
字数とする。

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

嵐に強い船の構想は、経済的な事情から **A(十字)** が、おそらく親方である芳太郎自身がこれまで腹のなかでは **B(九字)** ことであり、未熟だと思っていた満吉が同じ構想を考えていたことにおどろいている。

問五 じいの本心は満吉の味方をしたいのだが とあるが、じいは満吉の味方をしたいと考える一方で、今の満吉にはどのようなことが必要だと考えているか。十五字以上二十字以内でまとめて書きなさい。ただし、「今の満吉には、」という書き出しに続けて書くこと。

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

著作権に配慮して掲載を控えています

(注) 蛇の目Ⅱヘビの目をかたどった図形のひとつ。
 「子どもとことば」(岡本夏木)による。
 バウアーⅡアメリカの心理学者。

問一

I 、 IV

のそれぞれに入る最も適切な言葉の組み合わせを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア (I 新しい II 古い III 新しい IV 古い)

イ (I 新しい II 古い III 古い IV 新しい)

ウ (I 古い II 新しい III 新しい IV 古い)

エ (I 古い II 新しい III 古い IV 新しい)

問二

1 前の図形と区別できる図形を見せると、がぜん注視時間が長くなるの中から、形容詞をそのまま抜き出して書きなさい。

問三

2 早くから子どもにみられるひとつの現象とあるが、次の 内の文は、早くから子どもにみられる現象について、本文を踏まえてまとめた一例である。

A

B

に入れる最も適切な言葉を、それぞれ本文中から抜き出して書きなさい。ただし、字数は A 、B にそれぞれ示した字数とする。

子どもは A(五字)

が外界にどのような変化をもたらすかを探るなかで発見した関係をたしかめ、さらにその発見を用いて、自分の力で B(十二字)

と考える。

問四 学習 と同じ構成の熟語を、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア 思考 イ 苦楽 ウ 最高 エ 乗馬

問五 さまざまな随伴関係を提示する とあるが、大人が小さい子どもに提示する随伴関係として最も適切なものを、

ア～エから選び、符号で書きなさい。
ア 子どもに提示する随伴関係として最も適切なものを、

ア 子どものオモチャへの興味の有無にかかわらず、大人がオモチャを大切に扱ってやること。

イ 子どもがよろこぶ様子にあわせて、大人が表情や動作をさまざまに変化させてやること。

ウ 子どもが音や図形に興味を示す様子に対して、大人が関心を示さないようにしてやること。

エ 子どもが寝ているベッドのそばでは、大人が音をたてないようにしてやること。

問六 母親は「旧いのに好かれる」のではなく、子どもの身近にあつて「つねに新しく」在りうるのである とあるが、子どもが母親を「つねに新しく」感じるのには、母親のどのような反応のしかたが、子どもの何を、どのようにすることになるからだと筆者は述べているか。三十字以上三十五字以内でまとめて書きなさい。ただし、「探索欲」という言葉を使い、「母親の」という書き出しに続けて書くこと。

あつて「つねに新しく」在りうるのである とあるが、子どもが母親を「つねに新しく」感じるのには、母親のどのような反応のしかたが、子どもの何を、どのようにすることになるからだと筆者は述べているか。三十字以上三十五字以内でまとめて書きなさい。ただし、「探索欲」という言葉を使い、「母親の」という書き出しに続けて書くこと。

四

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1 世間の人の、失 （自分の欠点を） を忘れて人の失をのみ見て、

人を鏡として我が身を照らす事なきこそ愚かなれ。
（映すことがないことは、愚かなことである）

人をそしりては、我が身の失をかへりみる、
（非難したならば）

これ人を鏡とする心なり。人の愚かに拙きを見ては、
（心構えである） （愚かで思慮分別に欠ける姿を見たら）

我れをもまた人のかくのごとく見ん事を思へ。
（他人が同じように見るだろうと思いなさい）

2 この人すなはち我が鏡なり。
「沙石集」による。

問一 かへりみる を現代仮名遣いに改め、全て平仮名で書きなさい。

問二 世間の人 とあるが、作者は世間の人のどのようなあり方に問題があると述べているか。最も適切なものを、ア～エから選び、符号で書きなさい。

ア 自分の欠点への指摘を恐れて、他人と交わらないこと。

イ 自分が非難されないように、うまく取り繕うこと。

ウ 他人を非難するだけで、自分の欠点を見ないこと。

エ 他人の良いところを、あえて非難しようとする事。

問三 この人すなはち我が鏡なり とあるが、他人の愚かで思

慮分別に欠ける姿を見たら、どのように思うことで他人が自分の鏡となると作者は述べているか。現代語で十五字以上二十字以内でまとめて書きなさい。ただし、「姿」という言葉を使い、「他人の愚かで思慮分別に欠ける姿を見たら」という書き出しに続けて書くこと。

五

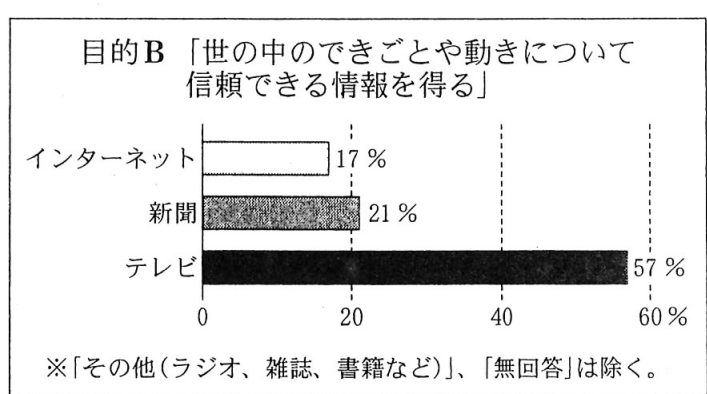
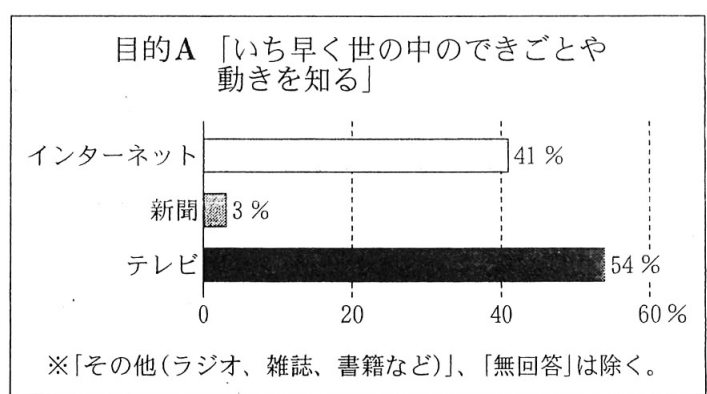
下の二つのグラフは、目的によって、どのメディアを最も多く利用するかを尋ねた結果をもとに作成したものである。これらのグラフを見て、後の問いに答えなさい。ただし、

内の《注意》に従うこと。

問一 インターネットを最も多く利用する人の割合について、

目的Aと目的Bのグラフを比較して分かることを書きなさい。

問二 世の中のできごとや動きについて信頼できる情報を得るためには、どのメディアを利用するとよいと思うか。あなたの考えを書きなさい。段落構成は二段落構成とし、第一段落ではあなたが利用するとよいと思うメディアを、第二段落ではそのように考えた理由を、具体的な例、あるいはグラフの結果を活用して書きなさい。なお、利用するメディアは複数でもよい。



(総務省情報通信政策研究所「平成28年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」より作成)

《注意》

- (一) 題名や氏名は書かないこと。
- (二) 書き出しや段落の初めは一字下げること。
- (三) 問一は二行以上三行以内、問二は六行以上九行以内で、それぞれ縦書きで書くこと。
- (四) 目的AをA、目的BをBと書いてもよい。
- (五) グラフの数値を記入する場合は、左の例にならうこと。

(例)

100

%

20

%

国語解答

(注) ここに示した以外の細部については、学校ごとに統一すること。

問題番号	正答	配点	備考
一	<p>① ぞうてい ② よくよう ③ うけたまわ</p> <p>④ いど ⑤ ひめん ⑥ 預</p> <p>⑦ 宣伝 ⑧ 仲裁 ⑨ 短縮</p> <p>⑩ 帯</p>	二 各2点 計20点	
二	<p>問一 イ</p> <p>問二 エ</p> <p>問三 修業もしていない見習いの身で、何もわかつていないのにえらそうなこと(三十三字)</p> <p>問四 A 製作にうつせなかつた B ほとんど描いていた</p> <p>問五 船大工の技術をきわめ、身につける(十六字)</p>	二 問一 3点 問二 5点 問三 8点 問四 各2点 計4点 問五 5点	二 問三 正答の一例である。 次の二つの内容が書かれていること。①「(満音が)修業もしていない見習いの身で、何もわかつていない」ということ。②「(満音が)えらそうなこと(を言っている)」ということ。 問五 正答の一例である。
三	<p>問一 ウ</p> <p>問二 長く</p> <p>問三 A 自分の活動 B 外界をコントロールしよう</p> <p>問四 ア</p> <p>問五 イ</p> <p>問六 微妙に変化する反応のしかたが、子どもの新たな探求欲をひきおこす(三十一字)</p>	三 問一 3点 問二 3点 問三 各2点 計4点 問四 3点 問五 5点 問六 8点	三 問六 正答の一例である。
四	<p>問一 かえりみる</p> <p>問二 ウ</p> <p>問三 自分の姿も他人が同じように見るだろう(十八字)</p>	四 問一 5点 問二 2点 問三 7点	四 問三 正答の一例である。
五	<p>問一 (略)</p> <p>問二 (略)</p>	五 問一 5点 問二 10点	五 問一 表記等に誤りがなく、インターネットを最も多く利用する人の割合について、目的Aのグラフと目的Bのグラフを比較して分かることが述べられていること。 問二 内容(世の中のできごとや動きについて信頼できる情報を得るためには、どのメディアを利用するとよいか)について自分の考えとそれのように考えた理由が、具体的な例、あるいはグラフの結果を活用して述べられていること。)と表記(表記等に誤りがなく、言葉の使い方が適切であること。)について、総合的に評価すること。
		国語 計100点	